

事前にこんなことを

観音山少年自然の家では、子どもたちが観音山の大自然の中で思いきり活動し、「自然のよさ」「友達のよさ」「自分自身のよさ」に気付くことを願っています。
そのために私たち所員は、子どもたちの個性を尊重する中で、ほめることと見守ることを常に心掛け、指導・支援をしたいと考えています。そして、利用者の皆様が本所利用の目的を十分に達成されるために、入所までの各団体における事前指導が大きな意味を持っているものと考えます。そんな観点から、下記のことを事前指導において参考にしていただければ幸いです。

1 観音山の主役は子どもです。

- 子どもが主役となって活躍できる場面を多くつくりましょう。
(普段の学校生活以上に、子どもたちのがんばりをほめましょう。)
- 自分から考える場面を多くつくりましょう。
(「観音山に失敗はない」という言葉があります。うまくいかなかったことは、その原因をみんなで考え、次の成功に結びつけましょう。)
- 個性を大切にし、子どもの良いところを見つけましょう。
(学校では見られない個性や良い面を、さがしましょう。)
- リーダーが育つ場面を設定しましょう。
(観音山はリーダーを育てる絶好の機会です。チャンスを生かしましょう。)

2 体験こそ宝です。

- 体験する場面を多くして、感性を磨き柔軟に考える力を育てましょう。
(子どもたちが体験して感じたことを、たくさん聞きましょう。)
- 観音山少年自然の家の自然環境や施設を十分生かして、活動しましょう。
(豊かな自然に囲まれた本所だからこそできる体験を、指導者と所員の創意工夫のもと設定しましょう。)
- ゆとりをもって活動できる時間設定を心掛けましょう。
(動植物に興味関心をもてる、ゆとりのある活動を計画しましょう。)

3 子どもたちの心に種をまきましょう。

- 指導者は、子どもたちの心に種をまく手伝いをしましょう。
(子どもたちの心情の変化を敏感にとらえ、効果的な声掛けをしましょう。)
- 観音山での活動が、学校・家庭・地域でも生かせるような工夫をしましょう。
(観音山と学校・家庭・地域をつなぐ、事前・事後指導を大切にしましょう。)

みなさんが、活動の目的を十分に達成できるよう、所員一同、全力で支援をさせていただきます。